



第 27 号
平成 18 年
2 月 発行

おかげさま

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 滉

「おかげさま」という言葉を、日常会話の中であまり耳にしなくなりました。私たちは、それを使う感謝の言葉を忘れてしまったのでしょうか。「職場の教養」の随筆で、鈴木大拙先生は「おかげさま」について次のように述べています。

おかげさまの「かげ」は陰あるいは影。陰（影）は、背後から射すものがあるから生ずるのですが、その背後から射すものが何かは、はっきりしません。自然の因果を超えた力が、見えないうちで働いているとわかっていいでしょう。それを感じるとき、「おかげさま」という言葉が、ひとりではほとんどぼしり出るのでと……。

私たちは、大自然の大きな力によって生かされているのでしようが、近頃は、その命を支えてくれている力のお陰を忘れて生きているのかもしれないね。人は一人で生きていけないものなのです。身近な事柄の一つひとつに、目に見えない大きな力のおかげを受けている事を私たちは知っていますのでしようか。

『望洋荘』に住まれている方々は、長い人生の中で、目に見えない『自然の光』を受け、多くの陰（影）を作り「おかげさまで」と言われてきました。そして自分も周囲の人たちから温かく射す光の陰の中に入れてもらい、おかげさまでと、感謝の心を持ち続けながら、意義ある人生を送ってきたのです。



「平成十八年初日の出」

「おかげさま」という感謝の言葉には、目に見えない「光」が交錯していると思われれます。職員の皆さんも、今日あることを、「両親、先輩、同僚、友人・・・」に、おかげさまでと感謝することを忘れないでください。今後も多くの人たちから、「おかげさま」という光の陰を受け続けながらも、また、自分たちも「おかげさま」と感謝される癒しの心を持った温かい光を放ってください。

望洋荘より見る初日の出

平成18年の初日の出です。今年は水平線上に雲が厚く掛っており、平年より遅く午前7時に初日の出を拝むことが出来ました。入居者様もそれぞれ初日の出に向かい、願いを込めて合掌されていました。

「獅子舞披露」古今亭志ん橋師匠来荘



1月17日に落語家の古今亭志ん橋師匠が来荘され、縁起物の祝獅子舞を御披露頂きました。懐かしい獅子舞に入居者様も大喜び、最後は全員の頭を噛んで回りましたが、ほとんどの入居者様が頭を前にだし、噛まれた後には魔除けの感謝を込めて、一礼をしていました。最近、獅子舞を見る機会がほとんど無く、若い世代では初めて見たという職員も多かった様です。貴重な体験に、ありがたや！ありがたや！でした。

「1月の誕生会」全ユニット合同



1月8日に全ユニット合同で「1月の誕生会」を開催致しました。1月に誕生日を迎えられた入居者様8名に、職員よりそれぞれプレゼントが送られ、入居者様からは、誕生日を祝福して歌のプレゼントがありました。誕生会では職員による余興(二人羽織など)を楽しんで頂きました。その後、おやつにケーキとジュースがみんなに配られ、美味しそうに頬張られておりました。

「いわき寄席」出演者の色紙集から

「いわき寄席」出演者の直筆の色紙を紹介致します。

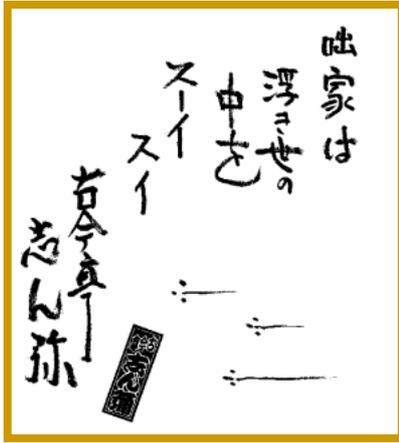
古今亭 志ん弥師匠の作品です。

第十二回記念いわき寄席 平成三年六月一九日

宮戸川、青菜、宿やの仇討ち

第六九回記念いわき寄席 平成二三年六月二四日

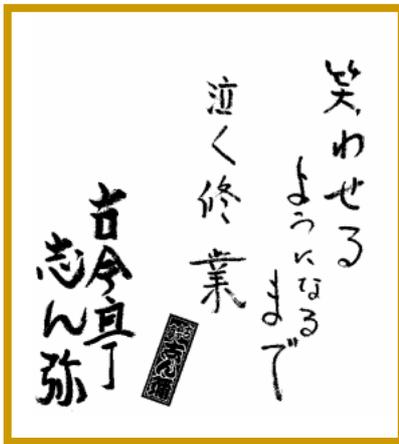
浮世床、天災



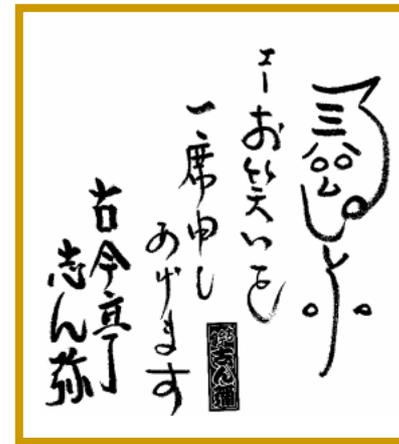
古今亭 志ん弥師匠
(第12回いわき寄席 H13.6.24)
咄家は
浮き世の中を
スーイ スーイ



古今亭 志ん弥師匠
(第12回いわき寄席 H3.6.19)
笑門福来



古今亭 志ん弥師匠
(第12回いわき寄席 H13.6.24)
笑わせる
ようになるまで
泣く修業



古今亭 志ん弥師匠
(第12回いわき寄席 H13.6.24)
エー お笑いを
一席申し上げます



古今亭 志ん弥師匠
(第12回いわき寄席 H13.6.24)
笑門福来

立川 談幸 師匠 プロフィール

本名 高田正博(たかだまさひろ)
 出身 昭和29年東京都新宿区
 所属 立川流落語会
 昭和48年 東京都立北園高等学校卒業
 昭和53年3月 明治大学商学部卒業
 昭和53年3月 立川談志に入門
 前座名 談吉(唯一内弟子修業をする)
 昭和57年 二つ目に昇進 談幸と改名
 昭和58年 落語協会より独立 立川流落語会発足
 昭和62年 家元立川談志の認証により真打に昇進
 出囃子 「吾妻八景」「春風がそよそよと」
 紋 「丸に三階松」
 趣味 投扇興
 (平成15年浅草観光連盟主催投扇興大会優勝)・千社札(東都納札睦)・川柳・スキー・吹矢(スポーツ吹矢協会公認一級)



入場無料につき

御家族、御友達お誘い合せの上おいで下さい。
- 笑う門には福来ると
- 笑いは家族円満 -

主催 須田 医院

たてかわ だんこう
立川 談幸 師匠 独演会

平成十八年四月二十日(木)午後六時三十分より
「いわき市文化センター」大ホールにて

「第九十七回いわき寄席」の案内

新年にあたって



事務長 濱尾 榮男

新年を迎え早いもので、一ヶ月が経ちました。昨年を振り返ると十月に介護保険改正がありました。皆様方にも多くの負担を掛ける事になりましたが、当施設においては逆に大きな減収となっております。先日、新聞に掲載された記事によりますと十月の介護保険改正に伴い全国の社会福祉法人の七十%が前年度と比較すると減収となっているという事であり、その利益総額はなんと四〇%減収になると言われています。介護に関する企業では景気が回復傾向にあり、株式会社などの法人では平均三二・一%の増収が見込まれており、社会福祉法人には厳しい年でした。

本年においても、四月に再度、介護保険改正が控えており、詳しい内容はまだ公表されておりませんが介護保険制度の収支状況を考えますと、今後介護保険から給付される金額は益々抑えられ、介護保険制度を利用する皆様及び福祉事業者者多くの負担が強いられる事は間違いないと思われまます。

この様な厳しい環境であります。当施設としても今まで以上の経費削減、合理化を図り持続的な運営に努力して参ります。また皆様方のご理解とご協力をお願い致します。

新年を迎えて「新年の抱負」

健康管理の充実を図る

看護主任 作山 八重子

新年あけましておめでとございませす。今年もどうぞよろしくお願い致します。

昨年看護主任となって、慣れないながら皆様のご協力と人生の大先輩である入居者様から色々な事を学び、頑張ってきました。入居者様の健康管理についても開設三年目を迎え、入居者様一人ひとりの健康状態を把握出来る様になってきたと思ひます。

今後は人生の後半を誰もが安心して暮らせる施設作りをして行きたいと思ひます。もし、お気づきの点、ご相談等がありましたらお気軽に医務スタッフにお申し下さいます。

介護サービスの向上目指して

介護主任 石上 阿希子

あけましておめでとございませす。

昨年は成り立て介護主任であり、何事も夢中で一年が過ぎてしまひました。

今年には入居者様への質の高い介護サービスを提供出来ます様に介護職員のレベルアップを図り、入居者様へご家族様より信頼して頂ける環境を、介護職員と共に築いて行きたいと思ひます。

もし、皆様方で何かお気づきの事がございましたら是非ご意見とご指導を頂けますようお願ひ申し上げます。

生活相談員からのコーナー

国民健康保険被保険者証の件ですが、今年も4月1日より切り替えとなります。新しい国民健康保険被保険者証は、いわき市より現住所に発送される様になっています。ご自宅へ国民健康保険被保険者証が届きましたら、お手数ですが望洋荘へお持ち下さる様お願い致します。

4月1日より、医療及び、介護保険改正に伴い一部利用料金が変わります。まだ詳しい内容は公布されておりませすので、お知らせ出来ませすが、新しい情報が入りしだいご案内させて頂きたいと思ひます。

今月の言葉その

(倫理研究所編纂語集から)

「今」こそチャンス

事によっては長い目でじっくりと取り組まねばならないものもある。それでもしかし、打つべき手を果敢に打たねばチャンスは逃げてしまふ。後でやろうはくれぐれも禁物。

編集後記

『望洋荘』便り

平成十八年二月一日発行

発行所 いわき市

平豊間字合磯三十九番地

社会福祉法人 りんさく福祉会

介護老人福祉施設 望洋荘

電話 (0246) 557373

FAX (0246) 557255